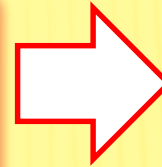


西紋地域における造林事業量と雇用の見通し

～人工林資源の充実を踏まえた請負事業体の現状調べ～

現状と背景

人工林資源の充実にともない本格的な利用期をむかえ
 再造林の増加が見込まれるところ
 当該地域では、造林請負事業体の規模は比較的小さく
 高齢化が進んでおり季節雇用も見られる

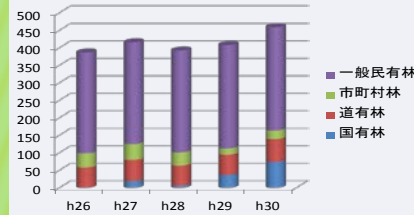


事業量
 1社1社で
 仕事をする
 従事者

1. 事業の見通しを調査

西部森林室・各市町村
 ・各森林組合

平成26-30年度植付事業予測



- ・国有林は管内に占める面積は大きいですが、奥地天然林主体であるため、管内全域に占める造林事業の割合は少ない現状
- ・民有林は従来から皆伐中心であるため、今後も同規模の安定した事業発注の見通し

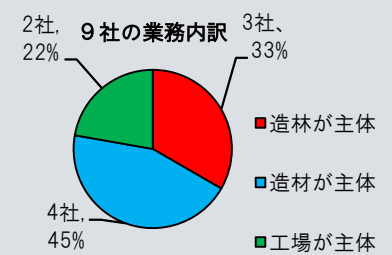
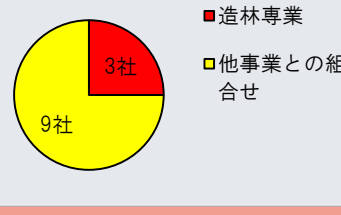
調査結果から

国有林の造林事業量が大幅に増えても、管内全体に及ぼす影響は限定的

2. 現状調査を実施

管内の造林事業者12社

造林専業及び他事業組合わせ
 (12社中)



事業者からの意見

- ・現状維持に精一杯、先を見通した事業量を確保
- ・機械化の要望、補助金や事業費のアップ

分析内容

- ・業務形態が、造林専業は僅か3社、造材や工場との組合せが多い
- ・事業量の見通しには不安視をしていないものの厳しい作業環境や季節雇用、作業時期集中等から

就労条件の改善と労働力の確保に課題

◆平成26年度 取り組み事項◆

今後の取り組み

調査結果や国有林、研究機関における低コスト・省力化の試験の紹介などを実行管理推進チームなどにおいて紹介し、課題を共有して解決に向けた意見交換を地域全体で行っていく。